

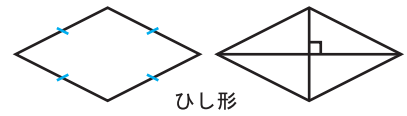
四角形(2)

いろいろな四角形

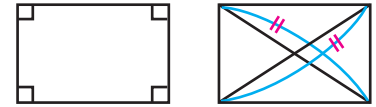
ひし形…定義：4つの辺が等しい四角形を**ひし形**という。
定理：2本の対角線は垂直に交わる。

長方形…定義：4つの角がすべて直角な四角形を**長方形**という。
定理：対角線は等しい。

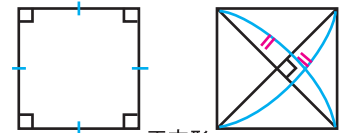
正方形…定義：4つの辺が等しく、4つの角がすべて直角な四角形を**正方形**という。
定理：対角線は、等しく垂直に交わる。



ひし形



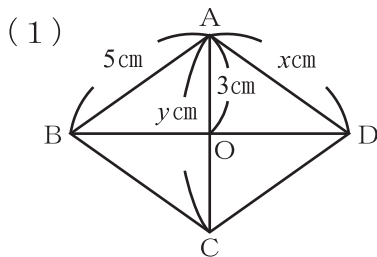
長方形



正方形

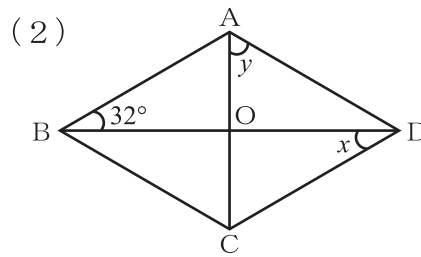
ひし形, 長方形, 正方形はどれも平行四辺形の特別な場合で, 平行四辺形の性質をすべて持っている。また, 正方形はひし形と長方形のどちらの性質も持っている。

【1】 次の図のひし形ABCDで, x, y の値をそれぞれ求めなさい。



ひし形の4つの辺は等しいので,
 $AB = AD = 5\text{cm}$ よって, $x = 5$
 対角線は中点で交わるので,
 $OB = OC = 3\text{cm}$
 $AC = OB + OC = 6\text{cm}$
 よって, $y = 6$

答え $x = 5$ $y = 6$



ひし形の4つの辺は等しいので, $AB = AD = CD$
 対角線は垂直に交わるので, $\angle AOB = \angle AOD = \angle COD = 90^\circ$
 対角線は中点で交わるので, $OB = OD$
 よって, $\triangle AOB \cong \triangle AOD \cong \triangle COD$
 合同な図形の対応する角は等しいから, $\angle x = \angle ADO = \angle ABO = 32^\circ$
 三角形の内角の和は 180° だから, $\angle y + \angle ADO + \angle AOD = 180^\circ$
 $\angle y = 180^\circ - (\angle ADO + \angle AOD) = 180^\circ - (32^\circ + 90^\circ) = 58^\circ$

答え $\angle x = 32^\circ$ $\angle y = 58^\circ$

【2】 四角形ABCDが平行四辺形で, 2本の対角線が直角に交わっているとき, 四角形ABCDはひし形であることを証明したい。次の□をうめて, 証明を完成させなさい。

$\triangle ABO$ と $\triangle ADO$ で, 仮定より, $\angle AOB = \square \angle AOD = 90^\circ \dots \textcircled{1}$

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるので,

$BO = \square DO \dots \textcircled{2}$

共通な辺だから, $AO = \square AO \dots \textcircled{3}$

①, ②, ③より, \square 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい ので, $\triangle ABO \cong \triangle ADO$

合同な図形の対応する辺は等しいから, $AB = \square AD \dots \textcircled{4}$

平行四辺形の対辺は等しいから, $AB = \square DC \dots \textcircled{5}$, $AD = \square BC \dots \textcircled{6}$

④, ⑤, ⑥より, \square 4つの辺が等しい ので, 四角形ABCDはひし形である。

